



全国ガス事業者の取り組み
ガス警報器白書2019



ガス警報器工業会

目次

警報器特集

ガス警報器で顧客と接点機会を

- 更新率 85%を目標にーサービスショップと連携強化 **P 2**
- 接点機会を作る商品ー重盛徹志会長に聞く **P 3**
- CO 中毒事故が大幅に減少
業務用換気警報機が貢献 **P 4**
- 新規ガス小売事業者
警報器に積極対応 **P 5**

都市ガス警報器アンケート 2019

P 6

警報器普及の取り組み

P 9

警報器特集



ガス警報器で顧客と接点機会を

都市ガス小売り全面自由化の時代でも、ガス警報器が、ガス顧客の安全を確保する重要な機器であるという位置付けに変わりはない。今回の特集では、ガスショップと連携して警報器の普及に取り組む日本ガスの事例を紹介するほか、ガス警報器工業会（GKK）の重盛徹志会長にガス警報器を取り巻く状況の変化について聞いた。業務用換気警報器の出荷動向や都市ガス事業者へのアンケート結果を9～10掲載する。

日本ガス

更新率85%を目標に

サービスショップと連携強化

日本ガスは、昨年度からサービスショップと協力し、ガス漏れ警報器の普及率向上に向けた取り組みを強化している。同社のガス漏れ警報器普及率は数年前から下落傾向が続いていたが、積極的な提案活動が実りつつあり、2018年度では微減に抑えることができた。今後は、更新率のアップと新規の設置台数増加で普及率を維持・向上させていく方針だ。ガス漏れ警報器の普及で「ガス機器を利用する顧客の安全を確保する」のが最大の目的である一方、機器の更新で顧客訪問の機会が増えることで、台所など水回りのリフォーム見込みも多くなっている。今後さらさらこの相乗効果を生み出す取り組みを継続していく。日本ガスの担当者が必要件数が最も多いサービスショップ「都元サービスショップ」

を取材した。

日本ガスの都市ガスの需要数は約14万8000件（ヌーター取り付け数）。同社の家庭用のガス機器販売や修理、リフォームなどを担うのはサービスショップだ。日本ガスのサービスショップは5社6店舗が営業しており、このうち2店舗は、日本ガス子会社のニチガスサービスで、ほかの4店舗は日本ガスとは資本関係はない。都元サービスショップも同社との資本関係はない。

日本ガスのガス漏れ警報器の普及率は8年前までは40%台を維持していた。しかし、ここ数年の間、毎年1・2割ずつ下落する傾向が続いており、17年度末は33・1%だった。

同社は、昨年度からサービスショップと連携して、ガス漏れ警報器普及率改善に向けた取り組みを開始。各サービスショップ向けに、ガス漏れ警報器の更新率は85%を目標とするよう設定、開栓時の新規獲得率については第4半期より新たなチャレンジ目標として25%を設定した。結果として18年度末の普及率は32・9%となり、前年度より0・2ポイント微減に抑えることができた。更新に至らなかった15%分は、開栓時の新規獲得で補い、さらに普及率の回復へつなげる考えだ。

同社の家庭用ガス漏れ警報器の累計設置台数は約4万台。ガス漏れ警報器の更新期限は5年であり、各需要家の更新時期は1年を通して分散している。年間に約8700台（19年度）が更新を迎える。

主に新規集合物件向けの販売は定期保安調査を委託している日本ガスカスタマーサポートが管理組合・管理会社との折衝時に提案する。更新向けはその他のサービスショップが担当する。日本ガスは、ガス漏れ警報器の更新時期が近づいた需要家に対し、更新の前月20日頃に、更新のお願いを記したはがきを送る。各サービスショップには、更新を迎える需要家のリストを送付。サービスショップが必要家に電話でガス漏れ警報器交換を提案する。電話で連絡が付きにくい需要家には直接訪問し、不在の場合は不在カードを投函する。

同社はサービスショップの様々な接点機会でのガス漏れ警報器に対する提案業務をサポートするため、需要家の設置ガス機器やガス漏れ警報器の設置状況を各種作業伝票に記し情報提供している。さらに、ガス以外の電気・暮らしサービスへの加入状況も提供し、ガ

ス漏れ警報器の接点機会を利用し、その他サービスの提案へ発展させられるよう体制を整えている。

サービスショップの取り組み

都元サービスショップは、鹿児島市内に店舗を構えており、給湯器、浴室暖房乾燥機、ビルトインコンロなどの設置・修理のほか、リフォーム工事の施工も担う。需要家数は約3万4000件。年間約3000台が更新を迎える。18年度のガス漏れ警報器の更新率は85%を達成している。



有水課長

有水誠一営業課長は「需要家から5年間、警報器が全く鳴らなかったという話をされた場合、警報機が鳴らなかったのは、ガス機器を安全に使っていたという証拠です。ガス漏れ警報器

は自動車の任意保険のよ
うなもので、万一のため
の保険と考えてくださ
い」といった説明をする
と需要家の理解が得られ
るケースが多いという。
日本ガスの管内では、
分譲の集合住宅も増えて
いる。分譲の集合住宅は、
管理組合が建物全体の修
繕計画の実施時期などを
策定する。

ガス漏れ警報器の更新
については、個人で負担
するか管理費で補うかを
検討するケースもあり、
結論が出るまで半年から
1年かかるケースもあ
る。更新切れが発生する
こともあるが、いったん
更新切れの期間が出てし
まっても、さらに管理組
合の総会でガス漏れ警報
器の有効性について話を
してもらったことで設置に
結びつくケースもある。

顧客折衝記録を精査し
課題を抽出

日本ガスは、ガス漏れ
警報器の更新ができな
かった顧客にどう対応し
ていくかを検討してい
る。営業企画グループ販
売推進チームの川上彩矢
氏は「未更新の需要家は

最終的に連絡しても不在
だったのか、顧客から不
要であると断られたのか、
最初からアプローチ
できず未対応だったのか
を調べるため、昨年度
顧客折衝記録を精査し
た。その結果、未対応の
件数はゼロで、不在で話
ができなかったケース、
更新を断られたケース
は一定数発生することが
把握できた」と話す。不
在で顧客に面談できな
かったケースへの対処方
法や新規顧客への対応が
19年度の課題だ。

未更新の需要家に対し
ては、18年度も半年程度
空けてから、顧客に面談
して勧めたところ、更新
してもらったケースも出
ている。この取り組みは
19年度も継続する。
郡元サービスショップ
以外のサービスショップ
でも、ガス漏れ警報器の
更新を図るため、根気強
い営業を進めている。需
要家との交渉で、更新満
期月に取り換えに至らな
かったとしても、翌月以
降に専任の担当者を設け
て業務を引き継ぐなど
で、粘り強い取り組みを
行う。更新切れ後も警
報器設置に結びつくこと

も多い。日本ガスは、こ
うした取り組みにより、
需要家の安全レベルを維
持する考えた。

接点機会を作る商品

ガス警報器
工業会
重盛徹志会長に聞く

「ガス事業の小売り全
面自由化から2年が経過
しました。保安に対する
取り組みをどうしていま
すか。」



都市ガスの定期保安巡
回の頻度は4年に1回以
上で、新規のガス小売事
業者は、新たに獲得した
顧客に対する定期保安業
務をまだ行っていないと
ころもあります。ガス警
報器はごく一部を除き設
置の義務付けがなく、自
主保安で設置していま
す。都市ガス事業者は、
電気の販売に注力してお
り、電力会社も電気とガ
スのセット販売を進めて
います。さらに、通信事
業者や鉄道事業者なども
ガス小売りに参入し競争
が激化しています。こう
した中では、ガス警報器
の販売には力が入りにく
い状況になっています。
工業会(GKK)は、
料金以外のサービスこそ
が他社との差別化につな

がるどころか、ガス警報
器は顧客との接点機会を
設けるために良い商品と
考えています。「顧客と
面談できる機会を増やす
ことで、ガス顧客を守る
ことができます」とガス
警報器のメリットをガス
事業者アピールしてい
ます。

業務用換気警報器の
普及状況をどう見してい
ますか。

都市ガス事業者は、業
務用厨房分野のCO中毒
防止のために、業務用換
気警報器の設置を継続
しています。累計設置台数が伸び
ています。都市ガス警報

新築住宅への火災警報
器の設置が2013年に
義務化されました。火災
による死者数は13年に
約1280人でしたが、
最近では約890人に下
がってきました。火災警
報器の普及率は現在約
80%程度ですが、死亡者
数はこの数年下げ止まっ
ています。
消防白書では火災によ
る死亡者の死亡原因の約
4割はCO中毒によるも
のと発表されています。
煙が出ない状況でCO中
毒で亡くなるケースもあ
ると聞きます。煙検知だ
けの現在の火災警報器に
付加機能としてCO検知
が必要です。煙・COセ
ンサー付きの火災警報器
こそが、効果的だと考え
ます。ガス事業者に販売
してもらったことで火災に
よる死亡者数の減少に貢
献できると信じていま
す。室内の温度・湿度を
測定して熱中症などの危
険を知らせる商品も発売
されています。

「モノのインターネッ
ト(IoT)への対応を
どう進めていますか。」
可燃性ガスセンサー、

COセンサー、煙センサー、温度センサー、湿度センサーなど各種センサーや家電製品内のセンサーの情報を無線で集約し必要な対応をする機器、システムについて警報メーカーは大手都市ガス会社などと共同で対応を検討しています。

CO中毒事故が大幅に減少

業務用換気警報器が貢献

ここ数年のCO中毒事

故の件数(都市ガス、LPガス事業者の合計)は大幅に減少している。大手や中堅の都市ガス事業者が、2006年以降業務用換気警報器の設置を進めた効果が大きい。これに続き、中小の都市ガス事業者も同様の取り組みを進めたことで全国の飲食店などで普及率が高まっており、CO中毒事故減少に貢献している。

業務用途のCO中毒事故件数の傾向を見ると、07～12年では年平均11.8件だったのが、13～18年では年平均5件と半減している。ただ、これで満足できるレベルだとは言えない。CO中毒事故が発生した施設の大半は業務用換気警報器が未設置であることから、GKKは事故撲滅に向けた取り組みを継続している。CO中毒事故防止対策を紹介したDVDを日本ガ



警報器の交換期限をPRするポスター

ス協会に提供しているほか、厨房工業会や各都道府県のLPガス協会では講習会を開催している。一般家庭のCO中毒事故も業務用同様に減少傾向にあり、過去3年間は年4件程度となつている。事故撲滅に向けた取り組みとしては、インターネットを利用した一般利用者向けのプレゼント懸賞付きアンケートを実施している。アンケートに答えるとプレゼントに応募ができる。アンケート項目には「家にガス警報器はついているか」「過去にガス漏れなどで警報器が鳴ったこと

はあるか」「警報器が鳴って助かったことがあれば教えて下さい」などがあつて、これらの質問に回答してもらつたことで、自宅のガス警報器設置意識を高めてもらうのが狙いだ。昨年実施したアンケートでは1万5000件の応募があつた。アンケート結果は昨春秋、冊子にまとめた。警報器が鳴ったことで事故を未然に防いだ事例も掲載している。冊子は全国の都道府県のLPガス協会などの講習で使用されている。

出荷台数の推移

18年度の都市ガス用ガス警報器の出荷台数は、前年度比3・2%減の約236万台だった。都市ガス小売り全面自由化から2年が経過し、競争が激化している関東圏や関西圏では出荷台数が減少傾向にあるという。

都市ガス事業者は保安意識の高さを需要家にアピールするため、警報器の設置を呼びかけることもあり、新規の小売事業者との差別化を打ち出している。

日本ガス協会の取り組み

日本ガス協会と全国の都市ガス事業者は、毎年9月～11月にかけて「ガスと暮らしの安心」運動を展開しており、この運動の重点項目の一つとして、ガスの顧客を対象としたCO中毒防止の啓発活動を行っている。ガス警報器工業会から

は、毎年約5000枚の警報器設置・交換促進ポスターの提供を受けており、各事業者は事業所の目に付きやすい場所にポスターを掲示するなどして、顧客へのPRに生かしている。

また、業務用厨房におけるCO中毒事故防止対策のひとつである「業務用換気警報器」の設置促進に向け、動画共有サイトのYouTubeなどで視聴できる動画「業務用換気警報器をシンプルに解説」を制作し、ガス事業者に積極的な活用を促している。

日本ガス協会は、この動画を2017年12月に作成。すでに多くのガス事業者が、自社のウェブサイトにYouTubeに掲載した動画をリンクさせて、多くの人に見てもらい取り組みを進めている。

本紙調査 新規ガス小売事業者 警報器に積極対応

な市販品の情報を提供し、購入を勧めている。将来的には、当社でガス警報器購入の受け付けを行うことも検討中」と回答している。

ガスエネルギー新聞は5月20日付ガス警報器特集に合せて、新規に参入したガス小売事業者12社に保安対策とガス警報器の取り扱いを聞くアンケート調査を実施、東京電力エナジーパートナー、関西電力、中部電力、九州電力、JXTGエネルギーの5社から回答を得た。各社とも販売やり取りなどで積極的にガス警報器の取り扱いを進めていることが分かった。

◇

2017年4月に都市ガス小売りが全面自由化され、電力会社などが参入し、家庭用顧客を獲得している。都市ガスの定期保安巡回の頻度は4年に1回以上と定められており、新規事業者もあらかじめ設定された基準日に基づき、獲得した顧客に定期保安巡回を実施している。ただ、ガス警報

器は自主保安で設置しているため、新規ガス小売事業者が、ガス警報器の更新(5年に1回)や新規取り付けの販売にどう取り組むかが注目されている。そこで、今回アンケートを実施し、「新たに獲得した家庭用の保安対応をどう進めているか。また、ガス警報器の販売・提案活動をどう進めているか」を聞いた。

東京電力エナジーパートナーは、保安業務全般を日本ガス(二チガス)に委託。開栓時の消費機器調査業務のみ東京ガスへ委託している。ガス警報器の提案活動については「自社で作成した家庭用と業務用の保安周知冊子で設置を促進している。定期調査の際に、古いガス機器を使用する顧客にはガス警報器の設置もしくは、交換期限での取り換えを推奨。ガス警報器の販売・リースにつ

いては、委託先である二チガスにて販売・取り付けおよびリースサービスを実施。業務用換気警報器は、定期調査の機会を利用して自主的に無償で取り付けている」と回答した。

関西電力は「販売から保安、機器の修理・買い替えまで、顧客をサポートする目的で設立した関連ガスサポートを中心に保安活動を行っている。当社ではガス漏れや一酸化炭素中毒による災害を防止するために、自主的な保安活動として法定の消費機器調査等に加え、ガス警報器の設置を推奨している」と回答した。

中部電力は「保安業務はエリアごとに直営もしくは委託で実施している。いずれも当社が定めた保安業務規程にのっとり保安業務を実施。また、保安業務のうち、消費機器調査では法定点検だけ

でなく、自主保安項目を設定し、より高いレベルでの点検を実施している。保安業務を実施する中で、顧客との面対接点機会(開栓時調査、定期保安調査、戸別訪問など)には、ガス警報器の設置を提案。また、有効期限管理を行い、満期を迎える顧客へ取り換えを提案している」と回答した。

九州電力は「保安業務のうち開栓作業および定期の消費機器調査は外部に委託している。ガス警報器は販売・リースを取り扱っており、販売は提携店、リースは当社が行っている。提案活動では、顧客に案内チラシを送付。また開栓作業時や定期の消費機器調査時にガス警報器の有効期限が切れている場合は当社への連絡を促し、設置を推奨している」と回答した。

JXTGエネルギーは、「顧客の保安を万全とすべく、顧客の問い合わせに24時間体制で対応する顧客窓口のカスタマーセンターを設けており、現状では保安業務の一部を他社に委託している。ガス警報器の問い合わせがあれば、購入可能

【都市ガス警報器アンケート2019】

※ガス漏れ警報器の普及率は、ガス漏れ警報器の取り付け台数を調定件数で割った数値。CO検知機能付きと火報・CO検知機能付きは、ガス漏れ警報器の内数だが、各社によって算出方法が異なる。

ガスエネルギー新聞は、全国 199 の既存都市ガス事業者を対象に、ガス警報器の取り付け台数や普及策などを聞くアンケートを 2018 年度末に実施。160 事業者から回答を得た。東邦ガスからは記述回答はあったが、警報器の取り付け台数などの数値回答はなかったため、一覧表には掲載していない。回答事業者のガス警報器普及率の平均は 35.7%、普及率が 70% 以上の事業者は 17 事業者だった。

事業者名	ガス漏れ警報器 取り付け台数	普及率 (%)	普及率の対 前年度比 の増減	CO検知機 能付き取 付け台数	CO検知機 能付き比 率(%)	火報・CO 機能付き 取り付け台数	火報・CO 機能付き 比率(%)	業務用換気 警報器取 付け台数	業務用換気 警報器普 及率(%)
東京ガス	2,548,634	32.0	-0.8	1,467,524	57.6	605,107	23.7	172,102	97.9
大阪ガス	3,027,771	54.0	2.0	2,589,981	85.5	1,059,720	35.0	145,336	98.8
西部ガス	435,730	46.5	0.5	376,880	86.5	243,722	55.9	12,446	98.9
京葉ガス	200,648	23.5	-0.1	100,966	50.3	76,938	38.3	6,799	89.5
北海道ガス	194,864	40.4	-1.6	188,767	96.9	32,729	16.8	3,077	73.7
広島ガス	113,593	30.2	-1.3	105,173	92.5	6,636	5.8	5,714	93.6
仙台市	126,798	46.9	0.2	80,447	63.4	26,447	20.8	4,252	82.2
北陸ガス	137,189	38.1	-3.2	5,762	4.2	130,467	95.1	3,023	-
静岡ガス	221,847	76.5	-1.3	15,419	7.0	153,836	69.3	38	0.5
四国ガス	124,589	53.6	0.5	91,870	73.7	9,206	7.4	4,586	70.0
東部ガス	64,142	33.1	-0.2	18,966	29.6	29,511	46.0	1,055	34.0
中部ガス	154,630	75.2	-2.2	3,008	1.9	70,609	45.7	2,978	86.4
武州ガス	80,500	36.9	-0.9	19,071	23.7	25,114	31.2	862	36.5
山口合同ガス	135,894	85.8	-1.2	104,257	76.7	26,908	19.8	2,790	81.4
大多喜ガス	49,158	30.4	0.2	49,026	99.7	35,930	73.1	856	93.9
日本ガス	38,846	32.1	-0.8	7,180	18.5	31,505	81.1	1,188	95.9
岡山ガス	52,103	43.2	-1.7	28,243	54.2	20,724	39.8	2,167	97.5
東彩ガス	102,663	51.2	1.6	94,034	91.5	56,741	55.2	4	0.0
釧路ガス	23,251	38.0	-0.4	14,643	63.0	1,244	5.4	2	0.0
旭川ガス	34,011	30.6	1.1	25,452	74.8	4,262	12.5	1	0.0
滝川ガス	3,541	43.0	-4.8	0	0.0	0	0.0	36	1.3
美唄ガス	3,402	100.8	-1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
岩見沢ガス	1,637	62.4	1.8	15	0.9	8	0.5	7	2.0
帯広ガス	7,894	32.1	-0.4	611	7.7	243	3.1	5	0.0
苫小牧ガス	6,711	25.9	-4.7	4,658	69.4	165	2.4	0	0.0
室蘭ガス	4,817	20.3	1.7	3,526	73.2	36	0.7	20	0.3
長万部町	648	56.5	-1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森ガス	10,784	64.4	-0.3	95	0.9	27	0.3	42	6.1
五所川原ガス	391	26.6	0.2	0	0.0	0	0.0	3	3.1
弘前ガス	8,624	58.5	0.8	6,838	79.3	6,838	79.3	0	0.0
十和田ガス	3,495	91.1	-0.6	69	2.0	69	2.0	18	100.0
八戸ガス	10,891	72.7	0.0	244	1.6	1,195	8.0	0	0.0
黒石ガス	3,107	89.2	0.1	0	0.0	0	0.0	3	3.0
盛岡ガス	25,071	63.9	-1.0	0	0.0	247	0.9	954	97.3
花巻ガス	1,443	44.6	-10.4	11	0.8	29	2.0	86	100.0
釜石ガス	4,821	65.3	-2.0	1,890	39.2	0	0.0	15	10.1
東部液化石油	166	39.3	0.0	166	100.0	0	0.0	2	40.0
男鹿市	3,488	35.6	-0.9	0	0.0	108	3.0	19	63.3
にかほ市	425	8.5	-1.0	388	91.3	418	98.4	7	7.1
由利本荘市	2,218	28.3	-0.9	2,218	100.0	2,218	100.0	0	0.0
酒田天然ガス	6,341	57.7	0.6	679	10.7	2,992	47.2	20	12.2
鶴岡ガス	8,465	56.5	0.9	1	0.1	7,056	83.4	223	45.7
寒河江ガス	517	65.4	-0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
山形ガス	12,468	65.8	1.5	10,331	82.8	1,485	11.9	92	12.5
庄内中部ガス	1,736	34.1	1.1	1,529	88.1	1,033	59.5	5	7.8
庄内町	539	8.7	0.5	1	0.2	200	37.1	17	20.5
古川ガス	2,734	49.9	-10.1	0	0.0	1,892	69.2	6	2.6
石巻ガス	7,868	70.9	0.8	4,830	61.4	1,930	24.5	134	87.5
塩釜ガス	5,370	53.3	-3.4	2,835	52.7	2,078	38.6	52	40.9
福島ガス	9,675	26.2	0.1	0	0.0	1,227	12.6	438	39.5
東北ガス	1,300	35.0	2.0	0	0.0	60	5.0	67	63.8

【都市ガス警報器アンケート2019】

事業者名	ガス漏れ警報器取り付け数	普及率 (%)	普及率の対前年度比の増減	CO検知機能付き取り付け台数	CO検知機能付き比率 (%)	火報・CO機能付き取り付け台数	火報・CO機能付き比率 (%)	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率 (%)
常磐共同ガス	9,149	65.2	1.0	9,149	100.0	8,806	96.2	73	94.8
新発田ガス	2,009	5.5	0.3	0	0.0	1,904	94.8	59	10.9
越後天然ガス	8,127	23.8	0.1	0	0.0	7,444	91.6	505	100.0
蒲原ガス	6,740	21.4	-0.2	6	0.1	6,715	99.6	326	100.0
見附市	235	1.9	-0.1	0	0.0	206	87.7	0	0.0
小千谷市	3,849	36.9	0.0	—	0.0	—	0.0	—	0.0
魚沼市	2,397	30.9	0.4	0	0.0	2,091	87.2	0	0.0
上越市	964	2.1	-0.7	18	1.9	869	90.1	503	98.4
妙高市	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	155	100.0
糸魚川市	268	1.9	-0.1	43	16.0	—	—	115	100.0
白根ガス	1,749	6.6	0.0	0	0.0	1,749	100.0	409	100.0
栄ガス消費生活協同組合	12	0.3	0.1	0	0.0	12	100.0	0	0.0
佐渡ガス	1,215	83.9	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
栃木ガス	478	17.6	1.7	305	63.8	453	94.8	1	0.4
北日本ガス	15,176	45.8	1.6	131	0.8	519	3.4	9	0.9
足利ガス	4,018	27.8	0.5	3,890	96.8	3,890	96.8	227	59.1
佐野ガス	937	13.0	1.8	130	13.0	130	13.0	118	100.0
桐生ガス	1,811	7.8	1.3	101	5.6	954	52.7	526	100.0
館林ガス	1,928	26.7	1.2	0	0.0	230	11.9	38	71.7
伊勢崎ガス	2,318	20.7	-1.3	1,029	44.4	199	8.6	162	89.0
太田都市ガス	340	3.2	-0.4	3	0.9	0	0.0	0	0.0
本庄ガス	416	3.4	-0.1	0	0.0	191	45.9	329	99.6
坂戸ガス	3,935	12.1	0.0	2,028	51.5	1,841	46.3	298	95.0
入間ガス	2,152	11.9	0.8	1,558	72.3	470	21.8	104	100.0
鷲宮ガス	1,321	13.4	0.4	0	0.0	596	45.1	23	82.1
武蔵野ガス	192	3.9	0.0	3	1.5	15	7.8	2	2.2
西武ガス	1,677	15.5	-7.0	923	55.0	645	38.5	52	37.4
松栄ガス	1,184	18.4	0.8	63	5.3	190	16.0	65	95.5
大東ガス	20,739	18.4	0.0	16,802	81.0	371	1.7	358	91.1
堀川産業	160	1.8	0.7	0	0.0	0	0.0	143	28.0
フジオックス	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
角栄ガス	7,296	42.4	1.0	774	10.6	4,240	58.1	74	75.5
野田ガス	2,158	10.5	0.2	15	0.6	333	15.4	178	100.0
銚子ガス	219	11.6	-1.2	0	0.0	6	2.7	27	50.0
東金市	113	0.8	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
大網白里市	391	3.3	-0.1	9	2.3	12	3.1	0	0.0
白子町	532	18.2	0.0	532	100.0	372	69.9	0	0.0
習志野市	11,899	16.4	0.1	5,402	45.4	2,998	25.2	0	0.0
東日本ガス	18,048	23.1	1.7	14,684	81.4	12,003	66.5	351	17.8
京和ガス	3,766	7.2	-0.6	1,308	34.7	358	9.5	350	83.5
長南町	423	9.1	0.0	214	50.0	214	50.0	0	0.0
ニチガス	7,239	4.2	-1.7	3,238	44.7	1,019	14.0	1,165	31.2
昭島ガス	4,674	15.6	-0.5	1,100	23.5	151	3.2	301	100.0
青梅ガス	1,250	6.2	-3.0	1,162	92.9	280	22.4	145	96.0
武陽ガス	2,431	8.4	1.2	592	24.0	182	7.0	232	22.4
長野都市ガス	18,250	21.0	1.4	574	3.1	14,608	80.0	2,379	97.0
大町ガス	413	31.0	1.0	0	0.0	0	0.0	10	27.0
上田ガス	10,043	33.5	-0.3	10	0.1	9,940	98.9	349	98.0
松本ガス	4,811	21.2	0.2	4,811	100.0	884	18.3	377	100.0
諏訪ガス	4,547	23.4	-16.2	137	3.0	3,646	80.2	50	4.7
厚木ガス	20,535	41.4	0.5	367	1.7	18,694	91.0	720	83.1
秦野ガス	4,880	0.0	7.0	3,643	74.0	1,025	21.0	237	100.0
小田原ガス	14,240	39.4	1.1	11,481	80.6	1,637	11.4	270	98.9
湯河原ガス	350	11.8	0.8	2	0.5	1	0.2	1	0.2

【 都市ガス警報器アンケート2019 】

事業者名	ガス漏れ警報器取り付け台数	普及率 (%)	普及率の対前年度比の増減	CO検知機能付き取り付け台数	CO検知機能付き比率 (%)	火報・CO機能付き取り付け台数	火報・CO機能付き比率 (%)	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率 (%)
吉田ガス	5,397	78.2	-1.2	33	0.6	5,238	97.0	0	0.0
東京ガス山梨	7,238	29.9	1.0	7,236	99.9	3,980	54.9	823	100.0
熱海ガス	8,857	58.2	0.0	3,109	35.1	1,859	20.9	177	74.3
伊東ガス	4,521	55.6	-0.3	0	0.0	3,187	70.5	103	100.0
下田ガス	1,448	70.5	-1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
御殿場ガス	2,509	73.0	3.8	140	5.6	161	6.4	129	28.7
島田ガス	2,851	66.9	2.8	2,790	97.9	85	3.0	4	0.9
中遠ガス	6,916	88.4	20.2	5,341	77.2	5,341	77.2	3	0.0
東海ガス	39,167	80.9	-0.5	38,742	98.9	2,233	5.7	153	88.4
犬山ガス	2,491	29.7	-1.8	960	38.4	1,404	56.3	127	100.0
上野都市ガス	5,504	54.3	1.0	149	2.7	4,070	73.9	30	7.5
名張近鉄ガス	7,463	51.4	-1.2	0	0.0	2,595	34.8	339	90.3
甲賀協同ガス	1,800	92.9	1.8	0	0.0	0	0.0	3	12.0
大垣ガス	4,062	26.7	-0.6	728	17.9	3,180	78.3	131	40.7
日本海ガス	18,595	30.0	-0.4	17,379	93.5	17,379	93.5	540	86.8
高岡ガス	4,292	34.4	0.0	0	0.0	1,160	27.0	96	31.2
金沢市	7,987	13.1	0.4	560	7.0	2,509	31.4	64	4.8
小松ガス	3,490	37.8	0.5	0	0.0	1,010	28.9	171	96.1
福井市	6,952	33.5	-0.3	1,310	18.8	845	12.1	0	0.0
越前エネライン	1,279	34.3	-1.0	36	0.8	6	0.1	2	2.0
敦賀ガス	1,306	50.9	16.0	0	0.0	92	7.0	1	-
丹後ガス	594	27.9	7.5	0	0.0	451	75.9	2	3.0
福知山市ガス	530	9.5	1.4	349	65.8	46	8.6	109	86.0
長田野センター	234	27.4	-12.9	138	59.0	138	59.0	36	100.0
大津市	22,463	22.9	-0.3	8,337	37.1	375	1.7	0	0.0
大和ガス	14,273	23.4	0.3	2,174	15.2	2,193	15.3	484	75.2
五条ガス	806	35.6	0.4	22	2.7	767	95.1	6	40.0
桜井ガス	1,770	29.8	0.0	66	3.7	75	4.2	45	100.0
新宮ガス	540	16.7	0.0	505	93.5	505	93.5	72	100.0
大武	1,394	52.7	-0.7	687	49.2	613	43.9	0	0.0
河内長野ガス	8,167	38.2	-1.5	4,136	50.6	3,746	45.8	150	100.0
豊岡エネルギー	2,511	33.8	-1.4	1,386	55.2	1,062	42.3	291	98.0
篠山市ガス	461	19.1	0.2	0	0.0	320	0.0	53	96.3
伊丹産業	685	32.7	-1.1	613	89.4	0	0.0	57	100.0
津山ガス	3,176	50.0	2.0	3,157	99.4	231	7.2	3	0.4
水島ガス	8,587	43.3	1.4	647	7.5	7,289	84.9	335	99.6
福山ガス	15,287	35.1	-0.9	275	1.8	14,941	97.7	466	91.7
因の島ガス	1,463	35.2	-8.4	697	47.6	697	47.6	11	42.3
米子ガス	3,512	32.1	0.2	256	13.7	3,115	88.7	18	0.1
松江市	3,784	29.0	-0.8	626	16.5	63	1.7	9	2.0
出雲ガス	3,244	65.9	-19.0	0	0.0	2,988	92.1	70	-
浜田ガス	3,242	53.6	9.6	0	0.0	3,101	95.7	77	43.5
久留米ガス	5,913	20.7	0.7	2,073	35.0	257	4.3	325	99.9
大牟田ガス	4,763	46.5	0.5	3,872	81.2	713	14.9	168	93.6
筑紫ガス	20,017	55.0	0.4	19,793	98.8	147	0.7	236	100.0
高松ガス	218	10.9	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
伊万里ガス	1,212	30.6	-14.0	535	44.1	669	55.2	48	90.0
鳥栖ガス	4,313	51.5	0.0	4	0.1	4,025	93.3	84	75.8
エコア	1,415	41.0	1.0	28	1.9	0	0.0	88	100.0
宮崎ガス	30,495	42.7	-1.7	29,874	98.0	491	1.6	1,295	79.8
南日本ガス	1,022	15.9	1.0	0	0.0	0	0.0	246	92.1
加治木ガス	288	5.9	-1.5	37	12.8	14	4.8	35	70.0
国分隼人ガス	1,558	77.6	-2.4	583	37.4	975	62.6	18	100.0
出水ガス	867	85.1	12.9	744	85.8	0	0.0	9	18.0

【 警報器普及の取り組み 】

東京ガス

顧客の接点機会を活用し、警報器設置を勧めている。交換期限を迎える顧客には、DMをはじめとした案内で普及率向上に努めている。特に屋内設置の温水機器を所有されている顧客を対象に、ガス・CO警報器の設置による多重安全化を進めている。

大阪ガス

家庭用＝供給エリア内の警報器の普及率は約50%で横ばい傾向。警報器のさらなる普及拡大に向け、有効期限を迎えた警報器の更新率向上および開栓業務等の業務機会での新規取り付け、定期保安巡回時のお勧めに注力している。

業務用＝業務用ガス厨房機器の使用時におけるCO中毒事故を防止するため、業務機会等を通じて換気励行の安全周知活動を強化。業務用換気警報器の設置が有効と判断し、2009年1月よりCOセンサー無償貸与施策を展開。

東邦ガス

有効期限を管理した上で、適切な更新提案。

西部ガス

開栓、法定点検などの接点機会を通じて、新規設置や期限切れ取り換えを促進する。分譲集合住宅の管理会社等への営業を継続し、更新時一括取り換えを積極的に実施する。

京葉ガス

販売促進キャンペーンの実施のほか、各種業務機会（定期保安巡回、開栓、検針など）時に、PRを行っている。また、開栓のウェブ受付ページに警報器設置希望を尋ねる項目を設けて、開栓と同時取り付けの拡大を図っている。

北海道ガス

リース制度の活用・各種業務機会を利用した普及促進。

広島ガス

期満警報器については、顧客宛てに期満が近づいている旨の周知ハガキを送付して事前に案内。継続設置の提案を行っている。未設置の顧客には、修理訪問等に設置を提案している。

仙台市

更新率向上に向けて有効期限満了前の事前電話連絡による案内を行っている。また、開栓やガス設備点検、メーター期満交換、保安出動などの顧客宅を訪問する機会を活用してガス警報器設置・期満交換を勧めており、特に開栓時に設置しなかった顧客について、開栓2カ月後にDMの案内を送付し、普及率向上に努めている。

北陸ガス

開栓の機会と利用したガスショップによる提案、取り付け勧誘、定期保安巡回の機会を利用した提案、取り付け勧誘・検針時のPRチラシ配布、期満需要家に対する事前DM送付等、確実な更新・快適ウォッチのPRを行っている。

四国ガス

あらゆる訪問機会において、チラシを活用した声かけ運動の徹底を行い警報器設置の重要性をPRしている。

東部ガス

CO検知機能付きの警報器の普及促進を実施。新規設置を目的に、接点業務機会でのCO検知機能の重要性を顧客に伝え、設置提案を実施。満期交換時にガス警報器からCO検知機能付きへのグレードアップ徹底を実施。

中部ガス

3～5月に警報器キャンペーンを実施し、販売を強化する。警報器の素材価値を改めて認識することで意識向上を図り、普及率アップを目指していく。

武州ガス

開栓時をはじめ、機器販売や修理時などに必ず設置を勧めている。COや火災機能付きの複合型タイプに加え熱中症と乾燥を知らせるタイプの取り付けも促している。

山口合同ガス

未設置や期限切れ警報器設置の顧客に設置の折衝を行っていく。新規設置や更新時には、複合型警報器の設置を勧め、保安レベルの向上・普及率アップに向けて取り組んでいる。

大多喜ガス

あらゆる業務機会において、顧客に周知・提案を行い、普及促進を図っている。

日本ガス

警報器の取り組みを重点課題と位置付けて当社窓口を設置し、サービスショップとともに普及拡大に向けた意見交換を実施。満期更新、新規取り付けについて、営業マンの声掛け強化を中心にPDCAをまわした改善策を実施し、次年度の本格的な活動に向け、チャレンジ目標を掲げて取組中。

岡山ガス

①開栓時、法定点検時、修理等顧客訪問機会を利用した周知・新規取り付け・取り換え促進②警報器取り付けキャンペーンの実施予定既存取り付け分の満期時における取り換え更新率アップと新規取り付けが普及率につながるため、警報器の型式変更に合わせてサービスショップとのキャンペーンを実施する。

東彩ガス

コールセンターでは全ての開栓依頼に対して警報器の設置をPRしており、開栓を行う社員に対して顧客情報を伝達し設置を促進している。一度解約をした顧客へ再訪問し、警報器設置の促進を行っている。

釧路ガス

定期保安巡回・開栓時など、あらゆる業務機会での普及を図る。警報器の有効期限満了時の継続更新を図る。漏洩出動時に警報器未設置の顧客へ警報器設置を提案する。食品衛生責任者養成・実務講習会において、警報器の重要性をPR。

旭川ガス

開栓、定期保安点検、ガスメーター検満取り換え、新設工事等あらゆる業務機会に新規勧誘や取り換えを実施。集合住宅オーナーへの新規勧誘を専属要員にて実施。警報器に関するPRチラシを自社制作し活用。検針時に配布する自社広報誌「ガスだより」の紙面でPR。全体として更新率の高いリース警報器を積極的にPR。

滝川ガス

開栓時に設置を重点的に行う。

美唄ガス

対策方針＝既にガス漏れ警報器はリース契約で、ほぼ100%普及、住宅用火災・ガス・CO警報器（LPガス）一体型の製品があれば普及したいと考えている。対策状況＝ガス漏れ警報器については、期限管理で計画的に取り換えを実施している。

【 警報器普及の取り組み 】

岩見沢ガス

業務機会で作成チラシなどを活用していく。普及率も上がってきているのでこのまま継続していきたい。

帯広ガス

開栓および修理訪問時に設置を勧める。単体警報器から複合型への取り換え促進。業務用需要家訪問時に換気警報器設置を勧めているが、なかなか理解が得られていない。

苫小牧ガス

ガス開栓時のリース継続・取り付け推進。ガス警報器リース交換期限による巡回取り換えの推進。

室蘭ガス

有効期限が切れた警報器を設置している顧客へDMを郵送し取り換えを促す。警報器を取り付けた顧客に500円分QUOカードをプレゼントする企画。有効期限が切れた警報器を設置している顧客のリストを作り、可能な限り取り換え提案をする。

長万部町

定期的な広報掲載および法定点検時における普及促進。

青森ガス

各接点業務機会を通じ、新規取り付け、更新のお願い。

五所川原ガス

開栓・定期保安調査等の顧客と対面時に取り付けを勧めている。

弘前ガス

営業機会を利用しての周知。

十和田ガス

供給開始時点検の際や定保の機会に、警報器の有効期限を確認し取換または新規取り付けをお願いしている。

八戸ガス

安全周知チラシ、パンフレットを利用したPR・顧客へのガス使用開始時、器具修理等の訪問時等、業務機会を通じ、未設置の顧客へPRを行っている。

黒石ガス

ガスメーターとの連動遮断システムを勧めている。未設置の顧客へは定保等の業務機会を勧めている。期限切れの取り換えは、冬期間に集中して行っている。

盛岡ガス

定保、開栓時、その他業務機会を提案・更新時、期限切れ前にお知らせハガキを送付し訪問。

花巻ガス

ガス漏れ単体式警報器のほか、複合型警報器の紹介や住宅用消火器とのセットリースを用意する等、顧客の多様なニーズに沿えるような商品を準備して、ガス漏れ警報器の普及を促進する。

釜石ガス

災害復興住宅への普及策として、入居者向けのガスコンロ販売促進チラシを作成。「ガス・CO警報器」をリース契約した顧客には、ガスコンロの価格を5%割引する。

東部液化石油

業務機会訪問時やガス器具展示会等で安全性、必要性を説明し、現金およびリース販売にて取り付け促進を行っている。

男鹿市

ガス展等の業務機会にPRしているが、普及促進につながない。

にかほ市

ガス展等のイベント時のパネル展示や、チラシの配布により周知し、顧客の理解が得られるように努めている。

由利本荘市

あらゆる業務機会を通じて普及の促進につとめている。

酒田天然ガス

個人の年間販売台数に対し表彰制度を導入して普及を奨励している。

鶴岡ガス

快適環境お知らせ機能付警報器の付加価値提案による普及率向上を図っている。

寒河江ガス

開栓時、定期保安調査時や経年機器需要家訪問時に勧めている。

山形ガス

定期保安調査、顧客訪問時などあらゆる場面で警報器取り付け促進に努めている。業務用警報器に関しては、担当者との繋がりを密にし、メンテナンス訪問時などに取り付けを勧めている。警報器が期限切れになっている集合住宅が多く交換衝を進めている。

庄内中部ガス

①ガス展時にデモ機による実演。②開栓時に警報器設置のお願い。③ガス器具設置時、器具修理時等でのプラスワン営業。④消費機器調査終了後に警報器の説明と設置のお願い。

庄内町

開栓時等、需要家との接する機会で警報器の紹介を行っている。

古川ガス

ガスを安全に使ってもらうために、ガス使用開始時（開栓時）および定期保安調査時などの業務機会に取り付けを勧めている。

石巻ガス

リース料金の値引きキャンペーン・社員意識の向上を図り、各業務機会での積極的なアプローチをしている。

塩釜ガス

ガス開栓時の新規設置および期限切れの更新提案による普及促進。接点業務機会時における設置と更新提案。

福島ガス

ガス開栓時および検針時にチラシや広報誌等でPRを行っている。警報器更新の顧客には1～2ヶ月前に更新案内を送り、更新してもらえるように周知を図っている。リフォーム、建替時にキッチンの電化率が高くなり、警報器の普及率が下がっている。

【 警報器普及の取り組み 】

東北ガス

点検、機器修理および販売時の業務機会を捉え、警報器の必要性を、顧客の理解を得て普及促進に努める。

常磐共同ガス

年間を通じて、キャンペーンを実施、普及率アップを図る。

新発田ガス

開栓、消費機器調査・内管検査、ガス工事検収等の訪問機会を利用し、業務用厨房の顧客へ業務用換気警報器の無償(モニター)設置を勧めている。

越後天然ガス

リースでの利用も可能なため、顧客接点機会に勧誘を行っているものの、減少傾向に歯止めがかからない。

蒲原ガス

付帯契約型選択約款「都市ガス警報器リース新規契約割引」を設定。開栓時、定期保安点検時、機器修理時の機会でのPR強化。警報器期満交換訪問での継続営業強化と新商品PR。新築、リフォーム等のガス工事見積り時のチラシ等によるPR。

見附市

保安定期点検訪問の機会に設置を勧め、普及率の向上に努めている。

小千谷市

新築やガス設備更新、開栓時に警報機設置のお願い。警報機設置、期限切れ警報機の更新など、需要家へ周知しているが進まない状況。

魚沼市

ガス水道フェア(年1回開催)での展示・紹介・市役所の各庁舎にポスター掲示。開栓時に設置を勧めている。リース申込書の配布、期限切れ警報器設置施設の再開栓時交換依頼、定期保安点検時に未設置需要家にチラシ配布。

上越市

定期保安調査時に周知するほか、局ホームページへの掲載とガス水道フェアでの普及PR。交換期限前にDMや電話による更新の促進。供給ガス熱量引上げに伴い、業務用厨房機器特定4種(揚物器、食洗機、ゆで麺機、パンオープン)を使用している需要家に対しCO警報器を無償で設置した。

妙高市

警報器については、業務用換気警報器は普及率100%だが、一般についての取り付け状況は把握していない。

糸魚川市

内管消費機器調査時や定期周知時にパンフレットを配布して、ガス漏れ警報器の普及促進を図る。

白根ガス

自社および委託業務機会を通じ、設置促進のため需要家へ説明を行っている。ガス展や地域の防災訓練においてPR活動を行っている。2019年度から「ガス漏れ・CO検知」に加え、温度と湿度を監視する「快適ウォッチ」を採用予定。

栄ガス消費生活協同組合

定保の訪問時、開栓時等あらゆる業務機会を利用し、需要家の意識向上に努めている。

佐渡ガス

新設時には必ず取り付け。未取り付けの場合は保安巡回や機器修理等の顧客との接点機会を通して取り付け促進を行っている。

栃木ガス

既に設置済みの顧客を対象に警報器の有効期限前にダイレクトメールの送付。定期保安点検、開栓、修理等の日常業務機会を活用し、顧客へ周知。ガス展、イベント、キャンペーン等のチラシに掲載し、普及を図っている。

北日本ガス

入居開栓時に顧客へ警報器設置の重要性を周知し、警報器設置の促進を図っている。また、CO検知機能付、火報付の複合型を提案することでガス漏れ以外の安全も担保できる点をアピールし設置促進に結び付けている。

足利ガス

新築物件＝設計段階で全件提案見積を実施。既設物件＝開栓時および定期保安点検時に警報器の設置を提案。警報器の効期が切れる顧客に対して取り換え案内のDMを送付。

佐野ガス

9月から11月までの3カ月「ガスと暮らしの安心」運動期間中にセーフティーキャンペーン割引販売を行って警報器の普及を行った。

桐生ガス

家庭用定期保安巡回時以外にもあらゆる機会でも、警報器の必要性を説明し普及率向上を目指すほか特別キャンペーンを企画し、全社を挙げて普及促進を図っている。業務用・CO警報器の更新時期を迎えているため、対象需要家について順次取り換え。

館林ガス

ガス展および各種イベントにてPR。業務機会時にPR。機器販売時にセットで販売する。

伊勢崎ガス

開栓時および接客業務時の販売促進・期限切れの警報器を所有している顧客へダイレクトメールを送付。新規取り付けおよび交換台数の目標を設定し、販売促進。

太田都市ガス

警報器普及率が低いため、従来のポスター展示およびチラシ等のPRだけでなく、キャンペーン等を検討する。また、期限切れ警報器の交換のお願いも進めていく。

本庄ガス

新設開栓時に営業をしている。警報機を設置する需要家に満期の1カ月前に連絡して継続を勧めている。

坂戸ガス

拡販チラシを作成し業務機会(ガス使用開始時、機器修理時等)およびイベントを通じて需要家へのPRを実施。業務用換気警報器に関しては、無償で設置しており、新規業務用需要家へは工事担当者と連携しガス使用開始時に設置し普及促進を図っている。

入間ガス

業務機会(開栓、定期保安点検、安心サポート巡回)を通じてガス漏れ警報器をご案内し、取り付けを推進する。

【 警報器普及の取り組み 】

鷺宮ガス

業務機会時、定期保安巡回時に新規取り付け、取り換えを案内。ガス漏れ単機能警報器から複合型警報器への取り換えを勧めている。

武蔵野ガス

業務機会時にチラシを配布して理解を求めている。

西武ガス

リースを実施。

松栄ガス

接点機会での必要性の周知。

大東ガス

①マンション管理会社との業務提携(新規顧客獲得のため)
②定期保安検査、一般開栓、ガス機器販売時の訪問機会に設置を勧める。

堀川産業

定保時に必ず案内を行い、設置を促す。新築物件への警報器設置促進。

フジオックス

屋内設置のガス消費機器に対し、全世帯にマイコンメーターの設置、ヒューズガス栓の設置、安全装置付ガス消費機器を使用しているため、ガス漏れ警報器の設置を促進していない。

角栄ガス

開栓時に取り付けを積極的に勧めている。接点業務時の取り付け。

野田ガス

開栓時・定期保安巡回時にPR。販売促進のため、特別割引にて販売。年間の販売目標台数を設定し活動。

銚子ガス

各種業務機会を捉え、警報機の有効性をPRし、普及に努めている。

東金市

ガス課事務所に展示、東金市産業祭で展示した。

大網白里市

市広報でPRしている。

白子町

需要家にパンフレット等を配布して周知している。公共施設等に警報器普及促進のポスターを提示している。

習志野市

普及率が低いため、今後も関連会社と協力し、普及促進に努める。

東日本ガス

コールセンターで全ての開栓申込に対し警報器設置の説明を実施。開栓を行う社員に対して顧客情報を伝達し設置促進を図っている。顧客の接点業務機会時と定期保安巡回時に設置の案内を勧めている。

京和ガス

警報器の有効期限が満了となる顧客へ、警報器交換提案DM・パンフレット郵送。各イベント開催時、警報器提案販売・リースパンフレット配布。

長南町

新規ガス需要家、定期点検保安点検時等警報器未設置の方にチラシによる周知。

日本ガス(ニチガス)

開栓や調査時などの業務機会に提案を行っている。

昭島ガス

ガス展、地域イベント等で警報器のPR活動を実施して、警報器の普及促進に努めている。開栓時にもパンフレットを活用し、普及促進に努めている。集合住宅等には、期限切れ前に管理会社、管理組合へ更新交換のお知らせを送付して交換折衝を行っている。

青梅ガス

開栓や定期保安調査時に警報器設置状況を確認し、期限切れ等があれば交換の提案を行う。リースや売り渡し等需要家の希望に沿うよう対応。基本的にCO検知機能付き警報器の設置を推奨している。

武陽ガス

開栓時や業務接点時に顧客へ提案している。効期切れ前にはハガキと電話にて取り換えを勧めている。ガス漏れの早期発見が非常に重要なので、マイコンメーターと警報器の両方の設置によりさらに安全性を向上させることを目指している。ガス警報器普及促進の成績優秀社員を講師として社内講習会を設け、その手法を社員で共有するよう試みている。

長野都市ガス

DMと電話による取り換え促進。定期保安点検等、業務接点機会において、チラシ等を有効活用して新規取り付けおよび取り換え提案の実施。

大町ガス

新設設計時に警報器設置を勧める。期限切れ需要家のフォロー。

上田ガス

定期保安巡回等機会を捉え周知、営業を行っている。ガス展イベント時での展示PRを行う。

松本ガス

未取り付けの需要家へは定保時・開栓時に必ず自社チラシを配布している。期限切れの需要家へはDMや電話により更新を勧めている。定保担当者、機器修理担当者向けの警報器メーカーによる講習会を毎年実施している。

諏訪ガス

定保等で顧客宅訪問時に未取り付け需要家には警報器の必要性を説明しチラシを渡す。業務用需要家に対しては定保時に食洗機、オーブン、フライヤーなどを使用されている需要家に対して1年に1回換気センサー取り付け・換気の必要性などのチラシを配布している。

厚木ガス

ガスの使用開始時と4年に1回以上の頻度で行う消費機器調査時に全ての顧客に対し、ガス漏れ警報器設置を勧めている。設置済みの顧客には期限満了前に新しい警報器への取り換えの案内を郵送し、継続設置を勧めている。

秦野ガス

開栓時、ガス設備点検時に警報器取り付けを顧客にお知らせし、普及拡大に努めている。

【 警報器普及の取り組み 】

小田原ガス

各種接点業務時の周知徹底。接点業務担当者への定期的教育の実施。

湯河原ガス

開栓時および定期保安巡回時などの業務機会に警報器の必要性を周知している。また、マンションなどの集合住宅へは、管理組合等に対し一括で取り付けの提案をしている。

吉田ガス

期限取り換えを確実に実施し、保安巡回・修理訪問等の業務時に警報器PRを行い、新設取り付けを推進。

東京ガス山梨

期限切れ1カ月前にDMを送付し交換の促進を行っている。業務接点時に期限切れであることを周知し交換を勧めている。業務接点時に未設置需要家に対し設置を勧めている。期限切れ警報器撲滅のために、警報器鳴動による出動時に期限切れ警報器の取り換えの勧め、撤去のお願いを行っている。

熱海ガス

顧客宅へ訪問した際は、必ずガス漏れ警報器の必要性を周知し設置のお願いを徹底する。ガス展では、熱海市消防署とコラボし、火災警報器、ガス漏れ警報器の必要性の周知と設置状況に関するアンケート調査で普及促進を図っている。

伊東ガス

複合型のリースによる設置を勧めている。

下田ガス

保安巡回、開栓時に未取り付けの需要家に対し取り付けを勧めている。その他需要家への訪問機会を捉えて取り付けのお願いをしている。

御殿場ガス

開栓時の取り付け100パーセントを目指す。期限切れ警報器管理強化と取り換え促進、および追跡調査・定期保安巡回時の新規開拓ほか、訪問機会時のセールス強化。

島田ガス

年2%アップを年計画とし未取り付け既存顧客へ巡回提案、新設物件に対し全戸への取り付け提案を実施。

中遠ガス

無料点検や修理訪問等の接点業務時の声掛け。ガス展でのPR。

東海ガス

開栓時の警報器新規取り付けおよび定期保安調査時に未設置の顧客には設置を、期限切れの顧客には取り換えの交渉を行っている。業務用は、取り付けしてある業務用換気警報器の設置状況の確認を定期的に行っている。

犬山ガス

開栓時や定期保安点検時を活用し、ガス警報器の普及に努めている。

上野都市ガス

新規物件は必ず取り付けを提案している。交換期限の前月に更新を促すDMを送付し、更新の依頼電話をすることで更新脱落を防いでいる。警報器取り換え取り付け強化月間を設け、社員全員で普及率向上を目指している。

名張近鉄ガス

火災警報器とのセット割引販売・開栓受付時にガス警報器のPR・定期保安調査時やガス機器メンテ訪問時などの業務機会に警報器チラシ配布によるPR・集合住宅オーナー様へ更新PR。

甲賀協同ガス

全ての需要家に対し、ガス漏れ警報器の無償貸与による設置の推進を図っている。業務用換気警報器も同様の取り組みで、設置率の向上を図る。

大垣ガス

更新時期前に、更新のお知らせ葉書を郵送して更新作業に取り組んでいる。また、開栓時、保安点検時等、接点業務時においても、未設置や効期切れの顧客に対して紹介し設置に取り組んでいる。

日本海ガス

担当者別の設置台数を公表しコンテスト形式で台数を競うことで提案意識の向上を図る。接点機会での提案を徹底する。機器販売とのバック企画や付加機能付警報器により提案の幅を拡大する。

高岡ガス

普及促進のため、快適ウォッチ等付加価値のある機能を取りそろえ、顧客のニーズに合わせた提案を行っている。

金沢市

定期保安点検時に、全ての顧客に対し警報器の取り付けのお願いとチラシ配布を実施。ガス展などで警報器の展示を実施。

小松ガス

更新時期が近い顧客には地区担当者が取り換え訪問を実施。定期保安調査やサービス業務等で訪問する際にも更新時期をお知らせしている。全社的に警報器取り付け率向上に取り組んでおり、警報器新規取り付け率が高い開栓時の新規取り付けを促進すべく、社内研修会でそのPR方法、警報器取り付けのための知識向上を研修内容に盛り込み、各部署で取り換え更新および新規取り付け目標台数を設定し達成に向けて取り組んでいる。

福井市

ガス展にて展示販売。・広報誌、リーフレット等による機器のPR。

越前エネライン

ガス展でブースを設けPRを行っている。新規・期限切れともに取り換え促進対象とし年50件の目標を設定している。業務用は、給排気調査と共に年に1回、チラシ配布を行っているが、有償での普及は進まない。今後、無償取り付けも検討していく。

丹後ガス

集合住宅への設置率を上げるため、アパートオーナーや管理者への提案を行っている。

福知山都市ガス

警報器の設置率(有効期限ありは9%程度)が非常に低く、今後計画的に建物オーナーに提案する予定。警報器期限切れ案件が非常に多いため、今後自社グループの電話回線を利用した24時間安全監視システムの導入とともに更新提案を行っていく。

【 警報器普及の取り組み 】

長田野ガスセンター

業務用換気警報器は対象顧客に無償で取り付けている（対象顧客：業務用機器を設置している部屋）。

大津市

警報器普及ポスターを市役所庁舎内や関係機関に掲示している。

大和ガス

定保調査時、機器の修理時等訪問時の声かけの徹底とリース契約の強化中。取り換えについては、集合物件の家主、管理会社への直接交渉にて更新率アップを目指している。複合型を中心に販売。

五条ガス

火報・CO 検知機能付きのリースを中心に普及促進を実施。

新宮ガス

消火器等とのセット販売を行う。

大武

すべての訪問および業務機会でも取り付け物件には取り付け依頼を行い、単機能設置物件には複合型の設置を勧めている。

河内長野ガス

新規取り付け促進については開栓受付時、定期保安巡回時、ガス漏洩通報時、ガス機器修繕時などの業務機会を通じて全社で普及率向上に取り組んでいる。更新時取り換えについては不在対策等も考慮して有効期限の1カ月前から訪問できるよう計画、実施している。集合住宅については管理組合等に対して取り換え年に予算化してもらえよう、1年前から提案するよう取り組んでいる。

豊岡エネルギー

開栓、定保時等の業務機会に警報器の設置を勧めている。更新率アップ対策として、面対のうえ更新説明を行っている。

篠山都市ガス

自社で取り組んでいるガス集中監視システムと警報器の連動設置を推奨し、顧客に安全と安心を提案し、警報器の普及に努めている。業務機会に顧客さまと対面する機会を利用し、警報器の必要性を周知している。

伊丹産業

電話回線を利用した警報遮断連動型の警報器の取り付け促進を行っているが、費用負担等の理由から設置件数が伸びていない。LPガス部門での実績・安全性等をアピールし、取り付け普及を実施。新規物件については積極的にPRを行っている。業務用換気警報器は設置対象の需要家に対して、5年間無償貸与。警報器の点検を無料で行ったり、交換時期が近付くところから案内している。

津山ガス

開栓、定期保安調査、訪問営業等あらゆる業務機会を通じて新規取り付けを勧め、期限切れの更新のお願いを実施している。期間を限定し新規取り付けキャンペーンを実施している。

水島ガス

更新時に現金で契約している顧客に対し、リース化提案を実施し警報器更新率の向上を図るとともに、快適ウォッチへのグレードアップ提案をあわせて行っていく。

福山ガス

有効期限の近づいた顧客に通知を行い、また有効期限切れ後1年以上更新していない顧客をリスト化し、更新のお願い電話等の営業活動を実施。

因の島ガス

開栓時やその他業務（修理等）機会に設置を勧めている。

米子ガス

法定点検時、開栓時に警報器未設置先へ取り付け促進を実施。自主的な保安の取組である大口需要家の年1回の点検時に警報器、業務用換気警報器の取り付け促進および取り換え促進を実施。期限管理で対象先へDMを送付。

松江市

開栓時や保安調査、ガス展やミニ展示会等の接点業務時に顧客へ周知や取り付け提案を行っている。

出雲ガス

専従者を置きバランスよく更新。新規物件の100%設置。

浜田ガス

開栓時の新規取り付け促進ガス展示会等のイベントでの販売促進。

久留米ガス

顧客の最初の接点となる開栓時をはじめ、定期保安点検終了時に必ず設置を勧めていく。来年度は、警報器普及キャンペーン（仮称）を行い、新規取り付け推進に努める。

大牟田ガス

新築物件＝設計段階より警報機設置の案内を行い、設置率80%以上を目指す。取り換え＝期限満期2～3カ月前から事前連絡を行い、取り換え率の向上と普及率の向上を目指す。

筑紫ガス

開栓、定期保安調査等の業務機会に取り付け取り換え促進をする。有効期限を管理し、取り換えを促進する。業務用換気警報器対象の顧客へは購入しやすい価格設定を行い、新規対象となる顧客に提案する。

高松ガス

来年度からリース販売実施予定。

伊万里ガス

対策方針としては、新規需要家および集合住宅には設計段階で警報器の設置を推進している。主に集合住宅では取り付けが進んでいる。満期警報器取り換えを計画的に進めている。

鳥栖ガス

開栓時に顧客に案内（アパート等）、保安検査時に顧客に案内。分譲マンションは管理会社に共同購入を提案。居住している家屋には、保安検査時に案内チラシを配布。

エコア

警報器の必要性を説明した上で、取り付けを希望しない顧客に対し拒否書を取得している。

宮崎ガス

ガス展等のイベントでの呼びかけや、開栓、定期保安調査等での業務機会を通じて普及に取り組んでいる。

【 警報器普及の取り組み 】

南日本ガス

開栓・定期保安調査時を活用したガス漏れ警報器の取り付け促進、設置率向上を図る。業務用換気警報器設置率 100% の早期達成を目指す。

加治木ガス

開栓時の新規取り付けを徹底している。期限切れを迎える顧客への取り換えを促進。

国分隼人ガス

満期取り換え周知ハガキの投函。保安点検、開栓、修理時に取り換え。

出水ガス

ハガキの送付・電話連絡を行っている。

ガス警報器工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-4 アーバン虎ノ門ビル4F
TEL. 03-5157-4777 FAX. 03-3597-2717